

20発三第04469号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

三木町長 石 原 收

今後の道路行政についての意見・提案の提出について

仲秋の候、貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本町の道路行政につきまして格別のご高配、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県三木町

これからの時代は公共交通機関の充実、利用促進が CO2 削減などの観点からも重要ではありますが、我々、地方に住む者にとっては、まだまだ自動車がなければ何処にもいけないのが現状です。そんな中、政府の総合経済対策の一環として実施された高速道路の料金引き下げは、大変ありがたいことであります。ただ期限が 2009 年 1 月末までとなっていることからさらなる継続をお願いするものであります。

また、暫定二車線で供用されている高松自動車道などの高速道路、高規格道路については、交通渋滞や交通事故の発生を抑制し、安全の確保と交通の円滑化につながる四車線化を早急に図ることが重要であると考えます。

地方の疲弊や地域間格差の問題解決が叫ばれる今、地方の活力を取り戻すためにも、バランスのとれた道路整備を緊急かつ計画的に進めていくためには、本町の道路財源として地方道路整備臨時交付金制度はなくてはならないものであります。国としても地域の声や地域のニーズに即した道路整備を着実に推進するために、道路整備のための財源を確保するとともに、地方への配分割合を高めるなど、地方における道路整備財源を充実するよう要望するとともに、今後、道路特定財源が一般財源化されても、必要な道路をきちんと整備するために、道路整備に十分な予算措置を強くお願いするものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様式②

香川県三木町

○ 現 状

本町南部は中山間地域を有しており、その幹線道路の特徴としては、非常に狭隘でしかも脆弱で、台風などの災害に毎年のように災害が発生しており、隣接地は法面が多く、落石や土砂崩れ、地すべり等の危険性が高く非常に危険な状態となっているところが多数あります。

○ 課 題

山間部の道路改良はとにかく整備費用が高くなりがちではあるものの、防災を考えるうえでは、いかに効率的に進めるかが課題であります。

町の目指すべき将来像を「人と自然にやさしいまち・三木」と定めた第４次振興計画に基づき、道路整備に対する地域の実情やニーズを踏まえ、その必要性を具体的に精査し、引き続き、重点化、効率化を進めつつ、真に必要な道路整備を計画的に進めることといたします。

また今世紀前半にも発生する恐れが指摘されている東南海・南海地震等の災害が発生した時に備え、災害に強いまちづくりを目指すうえで道路整備は最も必要なものであります。本町においても道路ネットワークは脆弱で改良整備が急がれる路線や交通安全対策・防災対策上緊急に対応を要する個所も随分と残されており、その整備を待ち望む住民は多数にのぼります。安全で豊かな暮らしを提供するという観点から、災害時のライフラインの確保を図るための救急医療施設や福祉施設等へのアクセスとなる道路整備を重点的推し進め、常に生活者の視点に立ち、利便性の向上、交通安全に資する道路づくりや豊かな暮らしを育むための地域の景観や環境の視点から快適な道路空間づくりを今後も進めて参ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施設の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

香川県三木町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
良好な生活空間・自然環境の形成	本町の主な道路は地方道路整備臨時交付金事業を導入し整備していますが、これまで6路線が完了し、現在3路線が施工中であります。平成5年の東四国国体のサッカー会場になった「三木町総合運動公園」、水族館用大型アクリルパネル生産世界一の企業が進出している県営工業団地「高松東ファクトリーパーク」、水と緑の自然に囲まれた葬祭場「しずかの里」、社会保険庁が設置した「ウェルサンピアさぬき（現在はヴィラ讃岐）」、一般国道11号高松東道路高速バス停留所「獅子の里三木バスストップ」など、町内の主要施設への接続道路の整備は、全て地方道路整備臨時交付金事業を活用してまいりました。	町内の主要施設へのアクセス道路を整備することによって、利便性の向上、また豊かな暮らしを育むための地域づくりに多大な効果を発揮しています。	